

桧集成材による洗面台、トイレ手洗いの製作について

今回の依頼は桧集成材による洗面台とトイレ手洗いの製作ですが、天板、箱物すべてを集成材にて製作するものです。さらにガラス塗料グラノール艶消しを使用し、自然の風合いを生かすように努めました。

したがって、桧材資源を有効利用した集成材であり、合板を使用せず、安全なガラス塗料使用ということでエコで健康志向の家具です。

ここでお客様からの要望で扉は四方枠組みとし、取っ手の彫り形状等はお任せとなりました。

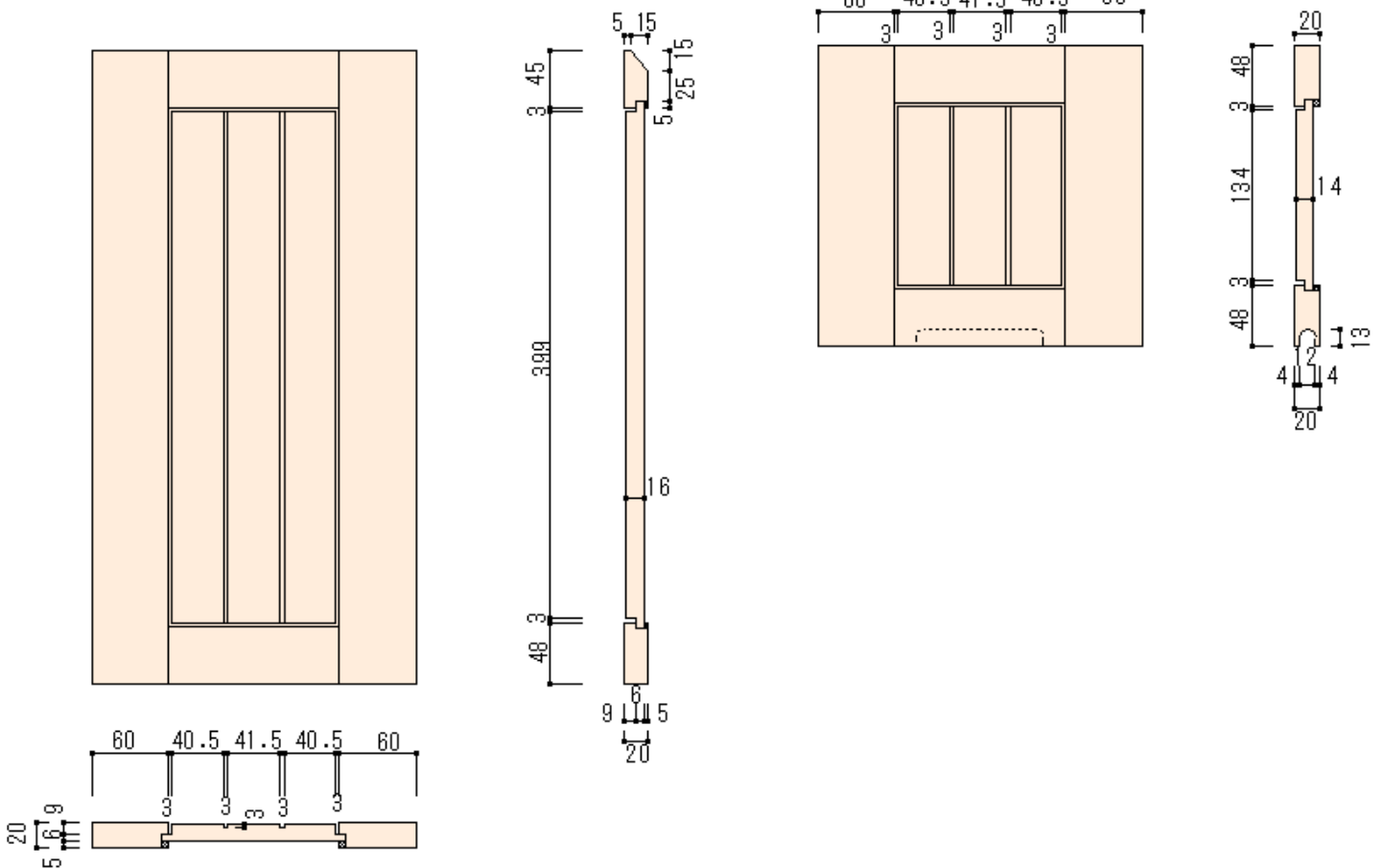
そこで、扉、引出し前板の形状は下図のように提案させて頂きました。

扉形状

引出し前板形状

彫り手掛け

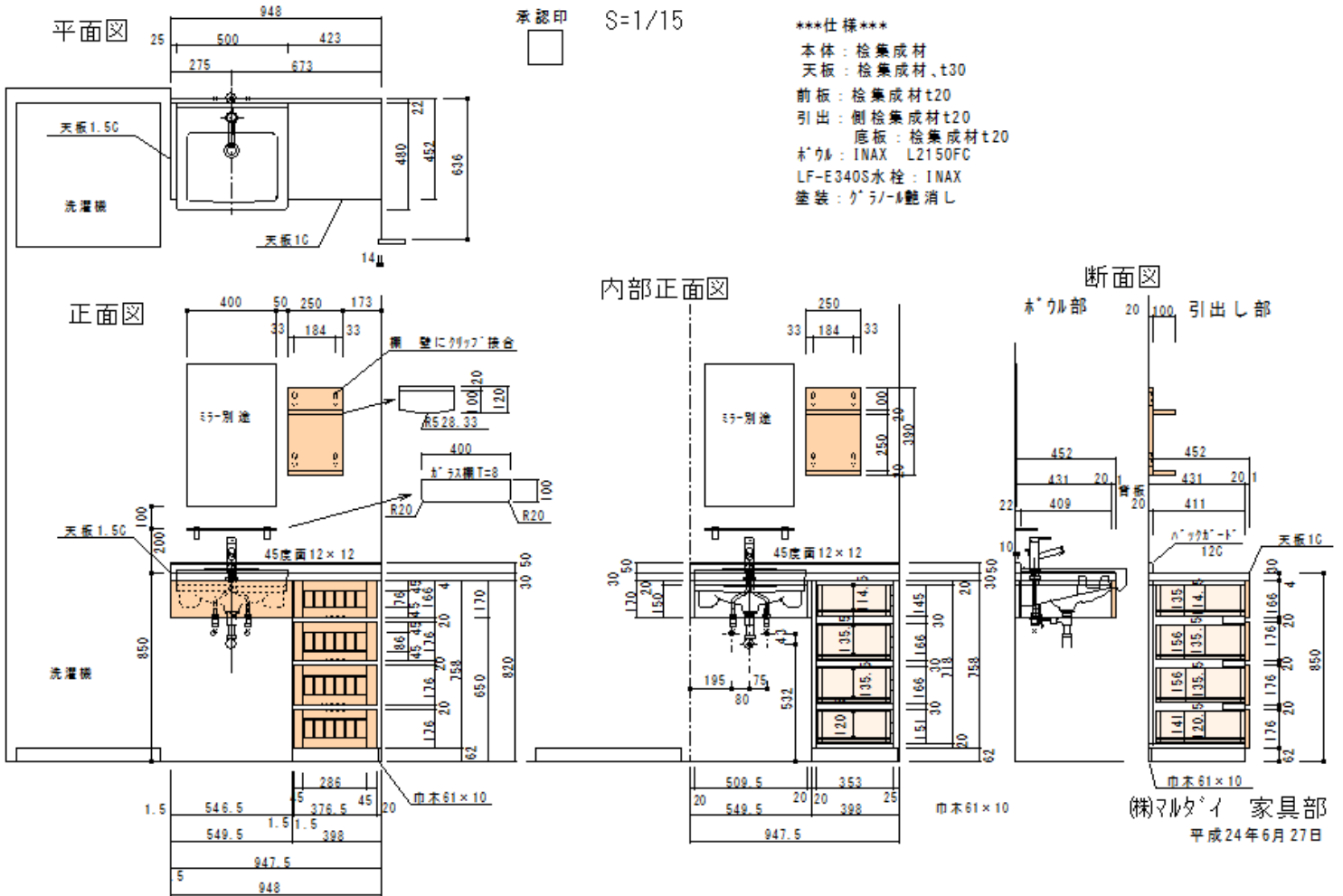
テ-パ-取って



1. 洗面台

洗面台は奥行を押さえるためにボウル前面がセリ出たタイプの角形ボウルで検討し、下図のように決定しました。

確定図 洗面台



採寸時の状況。



ボウルの収まり状況。



引出しオープン状況。
もちろん引出し内部まで桧集成材です。



ドア枠とのクリアランスの確保。
引出しはLamp ソフトクロージング
4070 レールを使用しました。



ボウル部の配管部納まり状況。



ガラス棚、水栓レバーの位置関係。



右上の桧の棚板は固定ビスを見せないクリップ留です。



仕上がり全景です。
塗装はガラス塗料グラノール艶消し
天板は4回塗り。

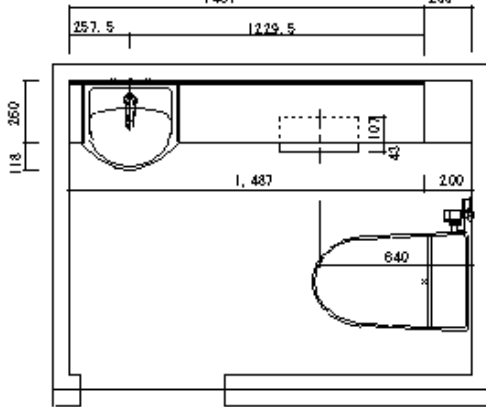
2. トイレ手洗い

ここでもボウル前面がセリ出たボウルを使用して奥行を押さえた手洗いとしました。ボウルは INAX L-62FC としますと家具奥行が確定し、あとはリモコン操作付きの2連巻紙の交換時のクリアランスがいくら必要かを実際に検証し寸法を確定し図面化しました。

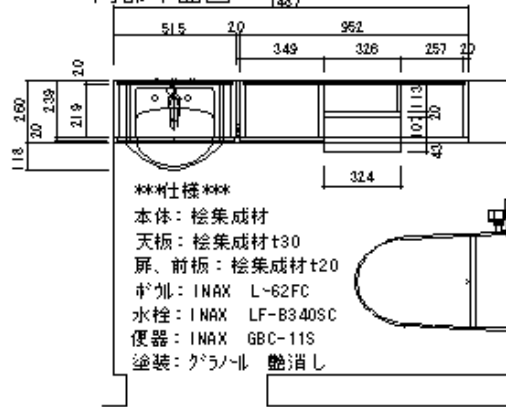
確定図7/3 1Fトイレ手洗い

S=1/15

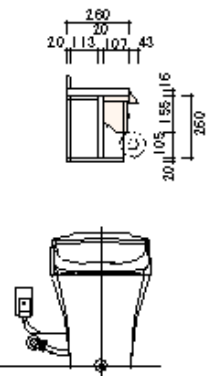
平面図



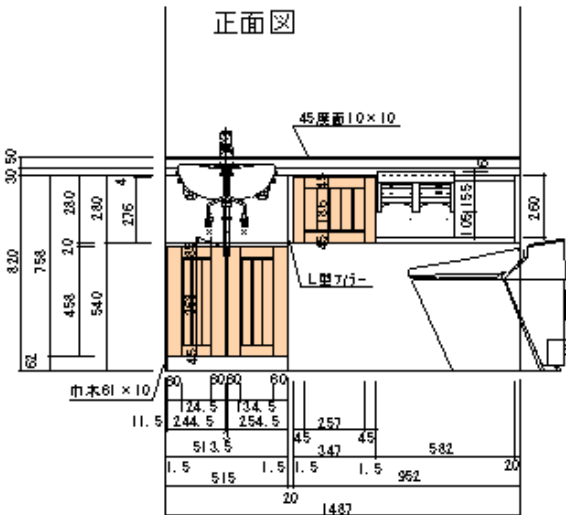
内部平面図



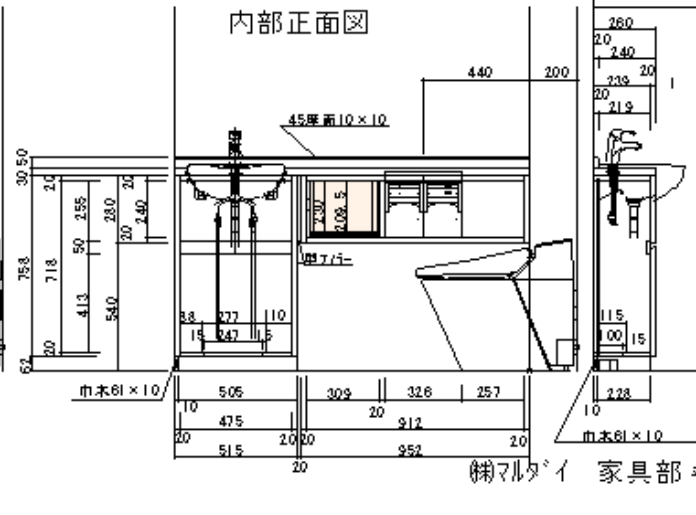
断面図
引出し部



正面図



内部正面図



断面図
手洗い部



(株)マルタイ 家具部 平成24年7月3日



巻紙交換
H260 必要

こういう数値はメーカー側からは
指定寸法が提示されていません。
器具を支給してもらい検証必要です



採寸時状況。



組立状況。



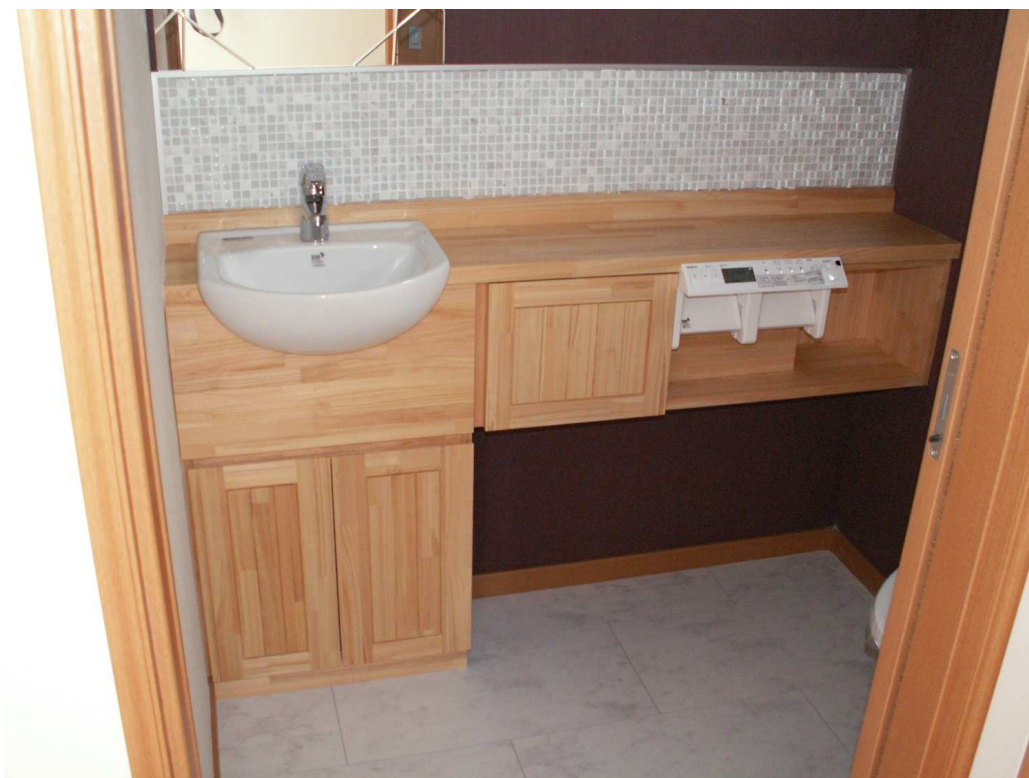
組立完了時状況。



リモコン付き2連巻紙器取付け状況。



収納扉、引出し
オープン状況。



扉，引出し
納まり状況。



桧集成材の天板、扉の表情。



塗装はガラス塗料グラノール艶消しを使用し、天板は4回塗りとし、出来るだけ自然の味わいを失わないように仕上げています。

また、桧の集成材であっても桧材の特有の白木の味があり、もちろん香りも楽しめます。

桧集成材 4200*50*t30 は天板、4200*500*t25：扉、前板、箱物 に使用しました。

(株)マルダイ 家具部 Da・monde 鈴木

平成24年8月17日